

# Current Status and Issues of health information system in Japan

WHO-FIC APN meeting in Bangkok

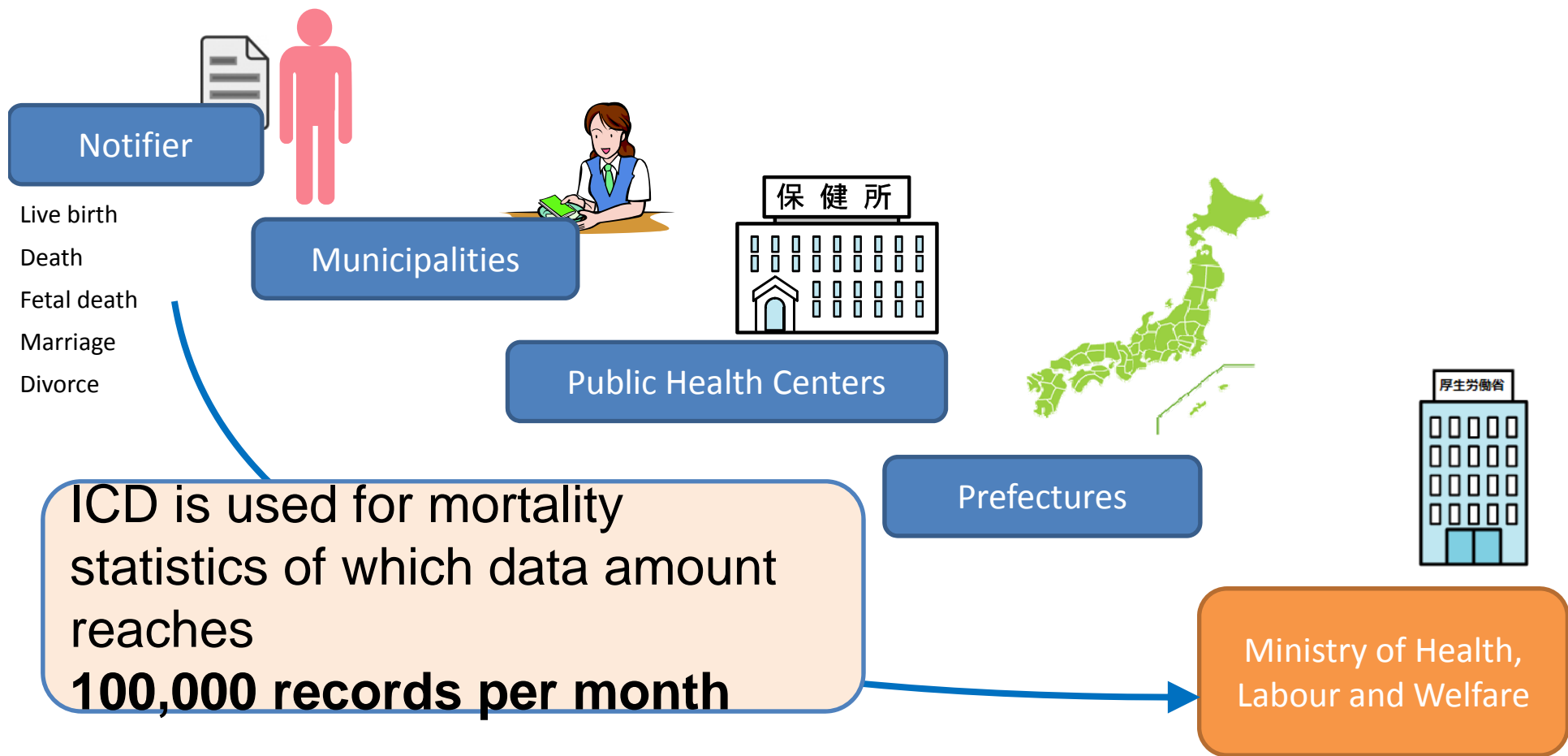
18-19 July, 2013

# How the ICD has been used in Japan

1. Classification of causes of deaths
2. Classification of diseases

# 1. Classification of causes of deaths

- Vital statistics
- By Ministry of Health, Labor and Welfare
- Based on the law
- Source of data:
  - death certificate issued by a doctor
- Since 1900
- ICD-10



Number of each organization	1,742	495	47	1
	Jan 1 <sup>st</sup> 2013	Apr 2012		

# 死亡診断書 (死体検案書)

この死亡診断書 (死体検案書) は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かい書で、できるだけ詳しく書いてください。

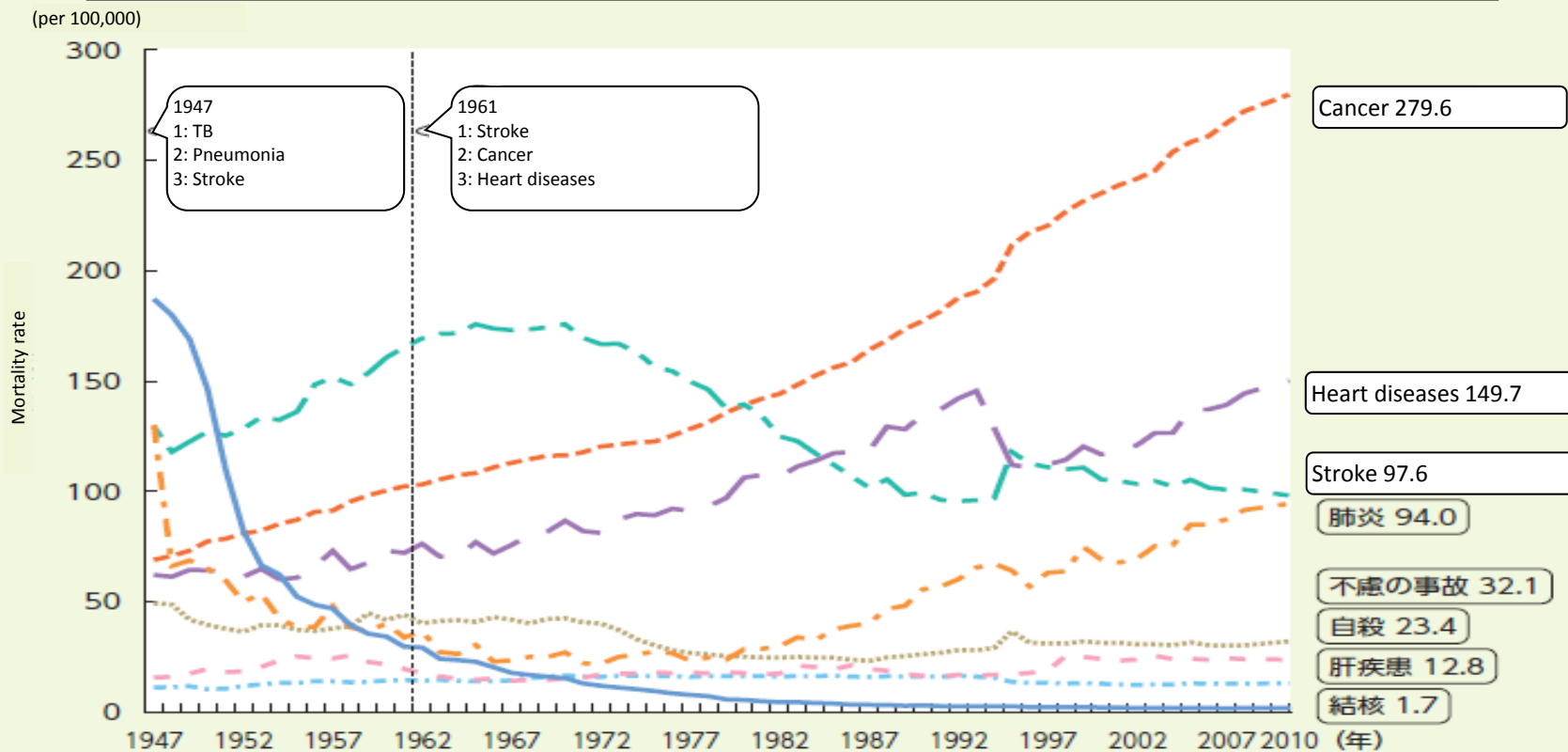
氏名		1男 2女	生年月日	明治 昭和 大正 平成 (生まれてから30日以内に死亡したときは生まれた時刻も書いてください)	年 月 日 午前・午後 時 分
死亡したとき	平成	Date and time of death		時	分
死亡したところ及びその種別	死亡したところの種別	1 病院 2 診療所 3 介護老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他			
	死亡したところ	Place of death			番 地 番 号
	(死亡したところの種別1~5) 施設の名称				
死亡の原因	I ◆ I 欄、II 欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください ◆ I 欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください ◆ I 欄の傷病名の記載は各欄一つに	(ア) 直接死因	Direct cause of death		発病(発症)
		(イ) (ア)の原因	Cause of the above		は受傷か 死亡まで
		(ウ) (イ)の原因	Cause of the above		の期間
		(エ) (ウ)の原因	Cause of the above		年、月、日等の 位で書いてく さい ただし、1日 満の場合は、 、分等の単位 書いてくださ
	II	直接には死因に関係しないが I 欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等			(例：1年3か 月、5時間20分)

死因の種類	1 病死及び自然死				火災及び火焰による傷害						
	外因死		不慮の外		Nature of death		及び不詳の外因}				
12不詳の死		その他及									
外因死の追加事項	傷害が発生したとき	平成・昭和	年	月	日	午前・午後	時	分	傷害が発生したところ	都道府県	市区町村
	傷害が発生したところの種別	1 住居	2 工場及び建築現場	3 道路	4 その他 ( )						
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください	手段及び状況										
生後1年未満で病死した場合の追加事項	出生時体重	単胎・多胎の別				多胎 ( 子中第 子)		妊娠週数			
	妊娠・分娩時における	母の生年月日				昭和 年 月 日		前回までの妊娠の結果			
1 無 2 有	3 不詳				平成 年 月 日		出生児 人 死産児 胎 (妊娠満22週以後に限る)				
その他特に付言すべきことから											
上記のとおり診断(検案)する						診断(検案)年月日 平成 年 月 日					
(病院、診療所、老人保健施設、所在地又は医						本診断書(検案書)発行年月日 平成 年 月 日					
Name and signature of the doctor						Name and signature of the doctor					
(氏名)						印					

# Trends in the mortality rate by cause of death

Chart 1-3-4

Thanks to advances made in medicine, deaths from infectious diseases such as TB have decreased; lifestyle diseases including cancer are however increasing.



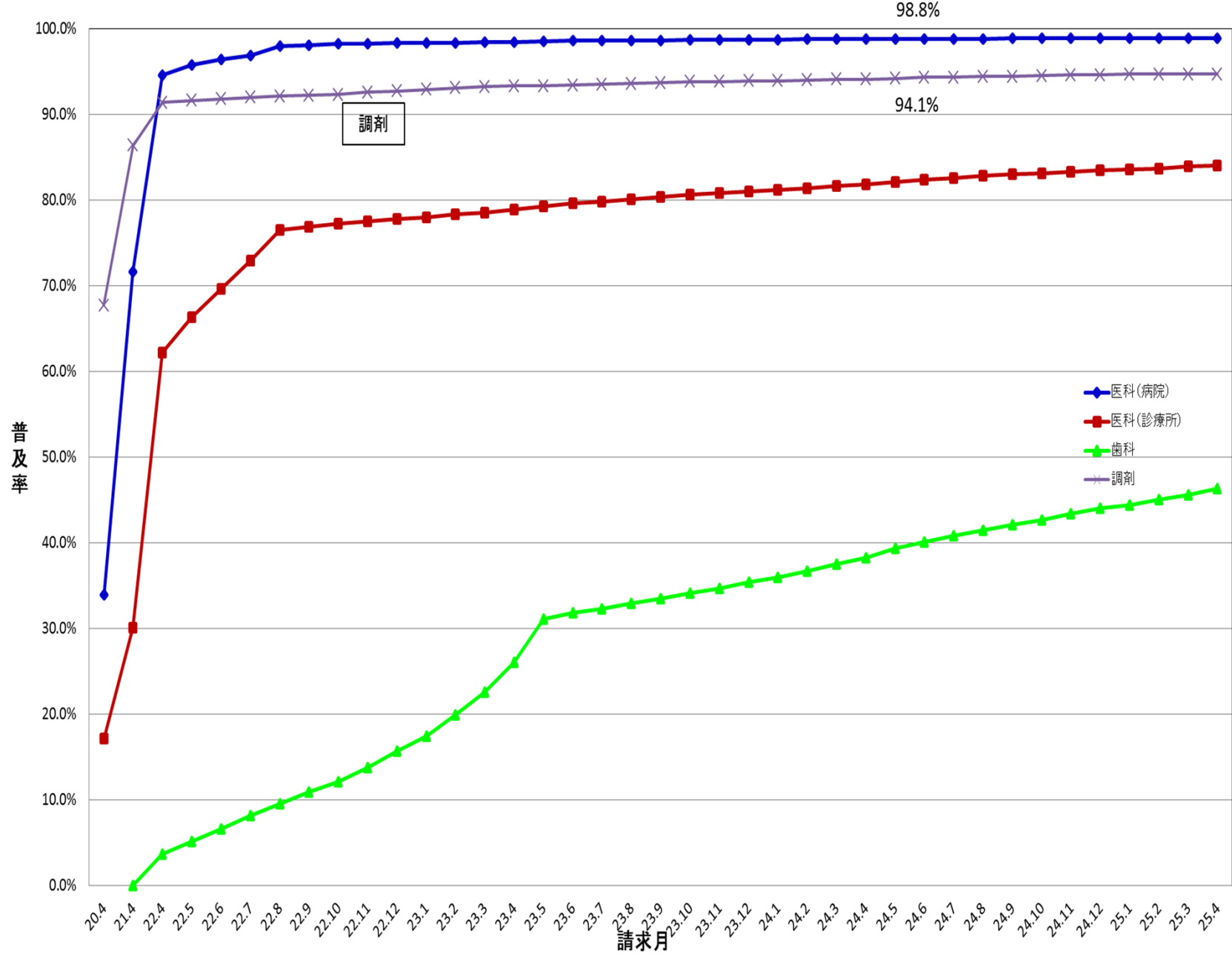
資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」  
 (注) 2010年は概数値である

## 2. Classification of diseases

- Health insurance payment (fee for service)
  - For reimbursement requested by hospitals and clinics for their services provided through health insurance scheme
  - A “receipt” for each medical service provided
  - Mandated by health insurers
  - ICD is not necessarily utilized for this system
  - “receipt” from paper to digital
  - Role of health information manager



# 医療機関のレセプト電子化の推移（施設数ベース）



## 2. Classification of diseases

- Health insurance payment  
(package fixed-rate payment system)
  - Diagnosis Procedure Combination (DPC)
  - package fixed-rate payment for one day inpatient medical service
  - ICD is mandatory
  - Introduced in 2003
  - Application by hospitals